

futbol y vida



Poco a poco ...
Poco a poco ...

超短い夏休みのTR&TRM終了!!
二週間後の選手権予選へ繋げる!!

2020 人生初の短い夏のTR&TRMが無事に終了!!

厳しいTRMを通して、二週間後の選手権予選に手応えあり!!

本日、短い夏休みのTRが全て終了しました。例年の三分の一しかない**16日間**の夏休みでしたが今年度のサッカー部は厳しい暑さの中でTRMをTRのメインに設定し、ゲームを通してチームと個人が、現在、何ができて何ができていないのか？そして、二週間後の選手権予選までにどのように取り組んでいくべきなのかを、子どもたちに具体的に把握させることがメインテーマでした。

また、今年度は、コロナの影響で夏の合宿が中止となり、チームとして一番厳しく追い込める場面が無い中で、コンディション作りが懸念されましたが、夏の暑さの中で、厳しいゲームを通して子どもたちのゲーム体力や集中力は確実に付いてきたように感じています。

選手権予選までの限られた時間の中で、この夏の経験をどのように活かしていくのか？チームとしては全体でTRを通してやっていきますが、個人の課題解決については一様ではないので個々の認識が重要であり、その中で優先順位を整理して主体的に取り組んでいくしかありません。実はここが一番のポイントであり、自分の**ストロングポイント**に磨きをかけるのか、**ウィークポイント**の解決に重点を置くのかは個人次第です。これだけいいチームとのTRMの中で、子どもたちが身を持って体感したことを選手権予選までのTRに活かし、この二週間でチーム全体がもう**ワンランクアップ**することを期待したいと思います。

2020 夏の武者修行は、実践学園戦の厳しい洗礼から始まった!!

この夏は、多くのチームとTRMを行いました。その中でも子どもたちが強烈な洗礼を受けたのが、終業式後に高尾グラウンドで戦った**実践学園戦**でした。二年生チーム（来年度の主力）でしたが、基本的なスキルはもとより、球際の厳しさ、攻守の切り替えの速さ、運動量だけではなく、ゲームに対するモチベーションの高さなど、全てに於いて圧倒され次々にゴールを奪われ見事に粉砕されました。上級生にとっては、今までに経験したことのないようなレベルの高い相手だったのかもしれませんが、**カルチャー(football)ショック**とまではいきませんが、夏休みのTRMを迎える前にとってもいい刺激となったと思います。

「負けて悔しい、絶対に今より上手くなってやる!!」という強い気持ち（パワー）こそが、子どもたち心に火を付け成長を促します。知らないものに触れ、そして謙虚に学ぶ姿勢こそ、今のチームには必要なのです。



＜強豪校との闘いは子どもたちの心に火を付ける＞

K's football スタッフ紹介:宮崎知明コーチ

宮崎コーチとの付き合いは、前々任校からなのでかれこれ今年で**13年目**となります。私の歴代の彼女よりも長い付き合いですね。こちらのチームコンセプトを十分理解していただいて指導に当たってくれるので、私からも子どもたちからも大変信頼されているスタッフです。

現在、千葉県柏市在住で、本業の休曜日である木曜日と日曜日の週二回来校し、主に一年生のトレーニングの指導と日曜日のTRMでは、チーム全体へテーピングや身体のケア、怪我人への対応をお願いしています。今年度は、フィジカルトレーニングも室内で行うものが多いのですが、選手権終了後の新チームには、**筋トレ&走りメニュー**を盛り込んで**ガッツリ鍛えて**もらう予定です。写真の甘いマスクからは想像できないと思いますが、スタッフで一番厳しい要求を出すトレーナーです。

また、彼の姿を見てアスレティックトレーナーや柔道整復師、理学療法士を目指す子どもたちも今までたくさんいました。進路について個別相談<一番厳しい宮崎コーチ>にも乗ってくれる兄貴分的な存在でもあり、まさに、生きた進路指導です。近い将来、片倉高校サッカー部からもトレーナーが生まれるかもしれませんね。



<高校一年生で苦労した経験が全てのベースとなる!!>

古今東西、一年生部員といえ、チームのための下働きがあります。集合時間前に集まり、グラウンドや道具の準備、TR&TRM終了後の道具の片づけにグラウンド整備など、サッカーだけに打ち込める環境ではありません。時には、理不尽に感じることもあると思います。しかし、この厳しい一年間こそが、子どもたちの高校三年間の土台を作る貴重な時間となります。特に、今年は、一年生にとって厳しさの最高潮となる**鬼の菅平合宿**がなかったのが、例年よりも遙に楽だったかもしれません。それでも、



<麦わら帽子の軍団はこの夏を乗り切った>

短い夏休みの限られた時間の中で、十分に一年生の役割(仕事)は果たせたのではないのでしょうか?グラウンドでは麦わら帽子を被ってよく働いていました。また、何処のチームよりもたくさんのTR&TRM(18試合)を最後までやりきれたことは子どもたちの自信に繋がります。成果は直ぐに出るものではありませんが、厳しい夏を乗り越えたことにより日焼けで黒くなっただけではなく、少し逞しく成長したのではないのでしょうか?

<After the Game>

異例の夏休みが終了しました。短い割には、しっかりと暑い夏でした。特に片倉(八王子)がこんなに暑いとは思いませんでした。都心?に住んでいる自分は例年にない黒さです。

さて、サッカー部は二週間という限られた時間の中で、選手権予選に向けてTRM(13試合)をメインに設定しました。天候にも恵まれ全て予定通り行うことができ、厳しい環境の中で強豪校とのTRMを通して、子どもたちの成長が少し垣間見られました。もちろん、まだまだ足りないことはたくさんあり直ぐに埋まるものではありませんが、この夏「本物に触れた」ことにより、何かを感じ取ってくれたと思っています。片倉高校サッカー部は、「百聞は一験に如かず」のスタンスで、「見る」だけではなく「実践」重視でこれからも突き進んでいきます。